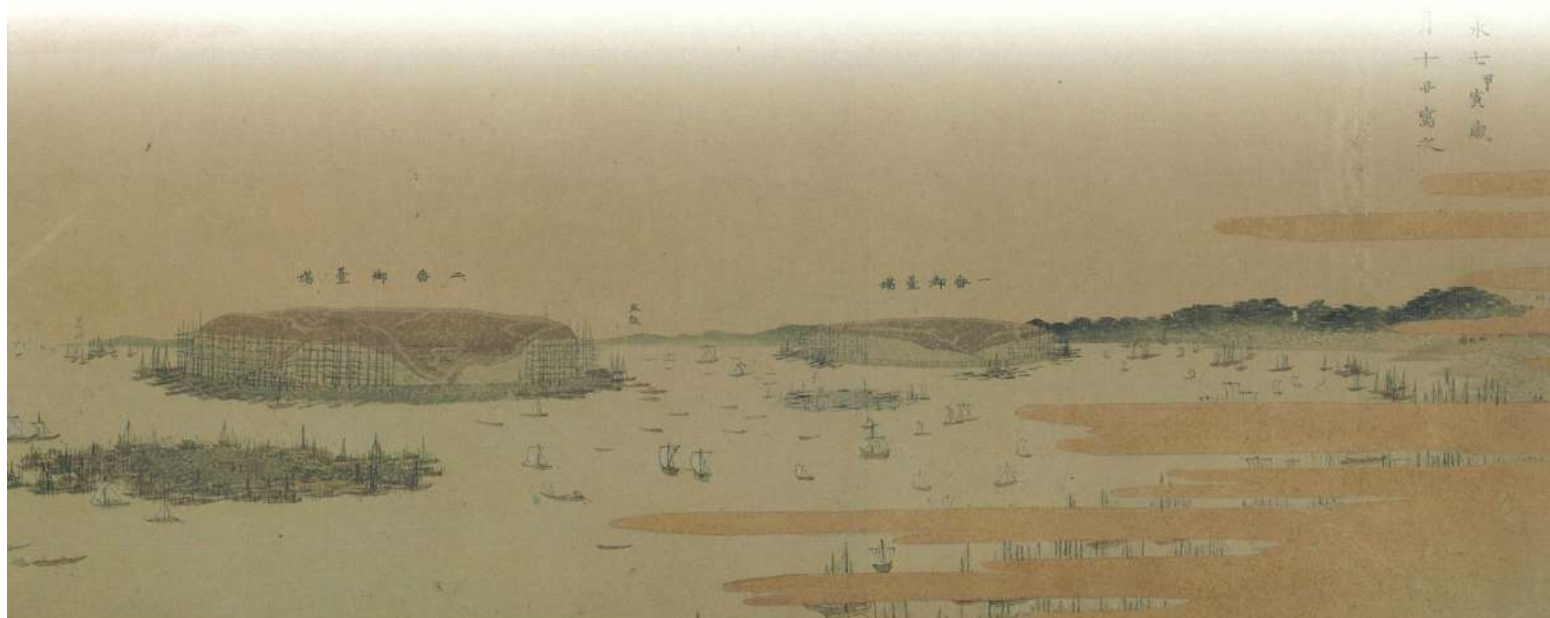
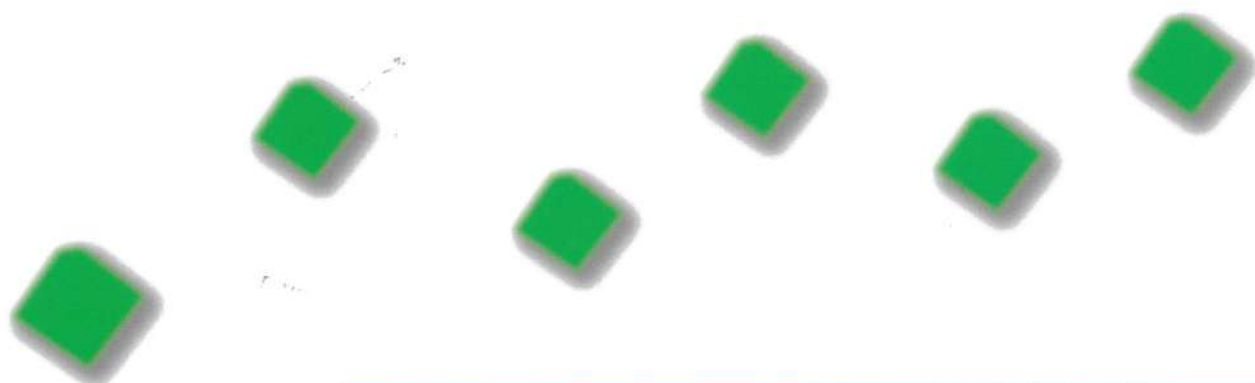


ペリー再来航・品川御台場竣工 170 年
品川区立品川歴史館リニューアル特別記念展

品川の海に 御台場ができるまで

—日記でひも解く 170 年前の大工事—



日記の筆者 その後

高松彦三郎（1818～63）

1856～1859（安政3～6）年まで長崎海軍伝習所に参加した後、1861・62（文久元・2）年に幕府が西欧諸国に派遣した遣欧使節団の一員として1年間渡欧しました。高松自身が記した渡欧記録は見つかっていませんが、多くの記録を残したことでしょう。帰国後、渡欧の褒賞で金10両（約100万円）を下賜され、1863（文久3）年2月に御小人頭に昇進しますが、4月24日に亡くなりました（享年45歳）。御台場普請時は36～37歳でした。

伊藤清一郎（1812？～67）

品川領の惣代として御台場普請を迎え、その後、品川領の触頭に昇進します。幕府御用から下蛇窪村の村政など多方面に活躍しましたが、品川用水の視察から帰村した直後の1867（慶応3）年7月28日に55歳で急逝しました。御台場普請時は41～42歳でした。俳句を愛し、俳号「杜松齋景湖」を名乗り、文化人としても優れていました。大井村名主で品川領の触頭を務めていた大野五蔵惟図（俳号「杜格齋景山」とは村役人同士で、俳句仲間でした。

資料提供・協力者一覧（敬称略）

本展開催にあたり、下記の機関や個人の方々にご協力を賜りました。

厚く御礼申し上げます。

株式会社フジテレビジョン Time Trip View プロジェクト

慶應義塾大学文学部古文書室

国立国会図書館

東京都埋蔵文化財センター

前橋市立図書館

横浜市歴史博物館

群馬県立文書館

公益財団法人江川文庫

東京都教育委員会

東京都立中央図書館特別文庫室

横浜開港資料館

伊藤 武

神谷 大介

橋本 敬之

伊藤 武泰

小林 紀子

平田 健

大村 卓

塩入みどり

吉崎 雅規

大八木謙司

重田 麻紀

品川区立品川歴史館リニューアル特別記念展

品川の海に御台場ができるまで一日記でひも解く 170年前の大工事ー

編集・発行 品川区立品川歴史館

東京都品川区大井6丁目11番1号 電話 03-3777-4060

発行日 2024（令和6）年9月15日

印刷 勝田印刷株式会社

© Shinagawa Historical Museum 2024. Printed in Japan

〔無断転載、無断複写複製（コピー）を禁ずる〕